



目指す子供像 うんとかがえる子 なかよくする子 つよからだの子 きれいなこころの子

みどりの里

宇奈月小学校 学校だより
第5号

令和2年7月29日

1学期を振り返って

教頭 大坂 由喜子



令和2年度がスタートし、始業式は放送での実施、入学式は1年生と保護者で実施しました。しかし、どういう形であれ、学校行事ができたことにほっとしていたのもつかの間、4月14日(火)から5月20日(水)までの臨時休校。5月21日(木)からは分散登校を開始し、6月1日(月)には全学年一緒に登校する通常の学校生活となりました。子供たちと顔を合わせて学習できることに感謝しつつ、

「新しい生活様式」を取り入れながらの授業や学校行事の実施はどうあればいいのか、工夫・検討しながら進めてきました。

7月3日(金)は、令和2年度最初の学習参観・学年懇談会となり、きっと保護者の皆様は、新型コロナウイルス対策や授業の進め方、子供たちの様子等、心配されながら来校されたと思います。保護者アンケートからは、子供たちの元気な様子に安堵した声がたくさん聞かれました。

- ・自分の言葉でそれぞれ自己紹介し、友達の話していることも集中して聞くことができていた。ようやく学校生活に慣れてきた様子を見ることができ安心した。(1年)
- ・町探検を楽しみにしていた。自分の聞きたいことを質問し、まとめて、みんなの前で発表するということがよい経験になったと思う。(2年)
- ・算数の授業で、粘土を使って問題を解くなど、子供たちが楽しく学習できるように工夫されていた。(3年)
- ・静かにさっと活動に取り組み、子供たちの成長にさすがと感じた。親も参加できる子供からの質問形式がよかった。(4年)
- ・先生が変わって不安だったが、子供たちは楽しく授業を受けていて、先生の人柄のよさを感じた。(5年)
- ・動画を用いての授業がとても分かりやすく、裁縫だったが苦手意識をもちずにクリアできていた。(5年)
- ・ランチルームが教室になっていると聞いて心配だったが、作品も飾ってあり、マイクでの授業でとてもよい環境だった。(6年)

一方で、実施を中止した方がよかったのではないかと、教室の気温等の熱中症対策や参観者の密への対策はとられていたのか、などの率直なご意見もいただき、まだまだ配慮が足りなかったと反省しているところです。

さて、いよいよ夏休みに入ります。どの地区もラジオ体操等の地区活動が予定されています。「コロナ禍にあっても、何かできることはないだろうか。子供たちにとって思い出に残る夏休みにしたい」とのPTAの皆様の熱い思いが感じられます。

2学期は、運動会や遠足、宿泊学習等の行事を予定しています。子供たちは、とても楽しみにしている学校行事です。新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて万全の準備を進めながら、子供たちのために今できる限りの最善を尽くしていきたいと思っております。ご家庭のご理解やご協力を今後ともよろしくお願いいたします。

令和2年度 第1回学校評議員会



7月17日(水)に第1回学校評議員会を行いました。

学校評議員は昨年度と同様に、以下の皆様をお願いしています。

- 大橋朋子（人権擁護委員） ○岡田千春（浦山公民館主事）
- 草野敬一（主任児童委員） ○竹山繁夫（内山自治振興会長）
- 中 佳美（放課後児童クラブ指導員）
- 野村康幸（宇奈月小学校PTA会長）
- 森下泰行（宇奈月小学校後援会長）

学校評議員会は、年間2回開催しており、保護者や地域の意見を反映させ、開かれた学校づくりを推進し、教育活動の充実を図ることを目的としています。

以下に今回の協議内容の一部を紹介します。（*は学校からの回答）

<アクションプラン1（学習指導）について>

- ・問題解決的な学習（調べる・まとめる・伝える）や新聞を活用した学習が今年度の重点となっており、難しいように感じた。しかし、学習参観の際に、2年生の町探検のまとめや発表を見て、学校の取組と趣旨が理解できた。今後はアクションプランの評価について、具体的に考えていってほしい。
- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、再度臨時休校になったときに、ITを活用したりリモート授業等は可能になるのか。

*学校では、この後ネット環境の工事を行い、一人一台のパソコンが配備される予定である。リモート授業を行うためには、学校と家庭の両方で策を講じなければならない。

<アクションプラン2（生徒指導）について>

- ・臨時休校後、欠席が多くなったり、不登校になったりする子供はいないか。
- *欠席状況は昨年並みであり、臨時休校が原因で欠席が続いている子供はみられない。

<アクションプラン3（保健指導）について>

- ・臨時休校中、家庭で過ごすことが多かったため、体力が落ちているのではないかと心配している。
- *6年生の鉾ヶ岳登山は、臨時休校直後の実施だったため、体力的に厳しいようだった。しかし、ペース配分をゆっくりとしたことで、全員登頂することができた。どの学年も体力テストを実施したが、例年並みの結果が出ており、現在は体力的な影響は少ないと考えている。
- ・最近では外で遊ぶ子供が少ない。以前は、異学年の子供たちが一緒に外遊びをすることで、体力や人間関係がつくられた。外遊びの手立てや外遊びのための環境の準備等を考えていってほしい。
 - ・浦山交流センターが再度開放されてから、館内でのボール遊びや外でキャッチボールを楽しんでいる。施設で運動をしている姿がよいと感じている。
 - ・メディアコントロールデイは、現代に適したよい取組である。自分で時間をコントロールして、生まれた時間の使い方を考えることは、とても大切なことである。

<その他>

- ・熊本県の豪雨災害のように、いつでもどこでも大きな災害は起こり得る。火事や地震だけではなく、河川による水害など、様々な災害を想定した避難訓練を実施し、子供たちの防災意識を高めてほしい。

保護者アンケートより

本校では、学校の教育活動に対して保護者の方々から年間2回ご意見をいただき、学校改善に努めています。第1回目のアンケートを7月に実施し、たくさんの貴重なご意見をいただきました。

以下は、いただいた内容をまとめたものです。○はよい点、●は要望や気になる点、☆は学校の取組を表しています。

I 学校の教育活動に対して	
(1) 学校教育の充実	
○	家庭で本が話題になることがある。学校で読書の機会や時間の設定がされているからだと思う。親子読書はとても楽しい企画なので、続けてほしい。
○	校外学習は、家庭ではできない活動をして楽しそうに過ごしているのがありがたい。
●	コロナによる臨時休校で学習が遅れているので心配である。今後もいつ休校になるか分からない状況なので、運動会をコンパクトにする、運動会の練習時間を学習に充てるなど、子供たちが大変な思いをすることがないように願いたい。
●	コロナによる休校の時、まだ習っていない学習を家で教えながらこなすのは大変だった。分かりやすいようにポイントや補足等があれば、もっとやりやすかったと感じる。
●	学習参観が他の行事と同じ月になるのは避けてほしい。
●	コロナの影響により授業時数が少なくなったので、進度がはやまっているかと思う。授業についていけない時のフォローの計画等を立ててほしい。
●	制服がぐじゃぐじゃになって帰宅する。雨や雪の日には、着替えの荷物を持ち歩くのも大変である。体操服で登下校することはできないだろうか。
☆	【授業の遅れ】 ・臨時休校により、授業の遅れを心配される声が多く寄せられました。臨時休校後の分散登校では、上・下学年担任がペアを組み、子供のつまずきに丁寧に対応するように努めました。夏休み前後の2週間の授業や各種行事のあり方を見直すことで、授業時数を無理なく回復します。子供たちの様子を見ながら授業を進めているところです。
☆	【制服の着用】 ・開校以来、子供たちは制服を着用して登下校をしています。理由は、家庭から学校へ、学校から家庭へと気持ちを切り替えるためや衛生的な習慣を身に付けるためなどが考えられます。子供たちは、毎朝体操服に着替え、学校生活モードに入り、思いっきり体を動かし活動しています。帰りは、汗等で汚れた体操服から、制服に着替えます。低学年は、荷物が多くなったり、制服の管理がまだうまくできないのでしわになったりすることもあります。その場に応じて適切に着替えることの大切さを小学校から身に付けさせたいと考えています。

(2) 学校と家庭の連携	
○	学校だより、学級だより、HPから学校の様子がよく伝わる。HPは、よく更新されていて毎日見るようにしている。
○	保健だよりや給食だより等で、その月ごとに気を付けること、季節の行事、食べ物等を知ることができるので、今後も続けてほしい。
○	子供の様子を電話や連絡帳で連絡していただき、丁寧な対応に感謝している。
●	メディア、ゲームに関して、保護者と教員が共同で指導する方法を考える必要がある。ゲーム、メディアがダメなのではなく、いかにうまく付き合うのが大切である。
●	HPは誰でも見られるので、ID、パスワードの設定等の対策が必要である。(写真、下校時刻等が掲載されているため)
●	コロナのため、家庭訪問の実施がなかった。ゆっくりと話を伺ったり、聞いたりする機会がないので、感染状況の様子を見ながら実施してほしい。
●	なかよし登校について、待ち合わせ場所のすれ違いから、10分ほど待っていることがあった。待ち合わせの場所等をきちんとお互いに確認し合えるとよい。

☆	<p>【学校と家庭との連携】 7月3日に実施した学年懇談会では、年度初めて、学級担任が保護者の皆様と顔を合わせ、話をさせていただく機会となりました。たくさんの参加をいただきありがとうございました。これからも、学校からの情報を発信するだけでなく、保護者の皆様と情報交換できる場を大切にしていきたいと考えています。心配なことやお困りことがありましたら、いつでも学校までご連絡ください。</p>
---	---

(3) 健康・安全な学校生活の充実・・・新型コロナウイルス感染症対策等の対応等	
○	コロナについては、家でも話しているが、先生からも子供たちにお話ししてくださっているおかげで、子供なりに気を付けていると感じる。
○	毎日の検温と体調チェックがあり、安心している。
●	マスクの管理が気になる。
●	一日中マスクの使用は辛い。授業中、一時的な時間だけでもはずすことはできないか。暑いときの対策はどうするのか。
●	マスクを着用するので、教室の暑さ対策にも力を入れてほしい。2階教室が暑く感じた。
●	次に休校になった場合、課題の配布を学校でしていただけるとうれしい。
☆	<p>【マスクの着用と管理】 学校では、各学級ごと「夏と新型コロナウイルス」のビデオを視聴しながら、マスクをする理由やマスクをはずすときの注意点等再確認しました。現在学校では、体育の時間は、人との距離をあげながらマスクなしで活動しています。息苦しいときは、適宜マスクをはずすように伝えていますが、マスクをはずすときは、洗濯ばさみで椅子の横にかけて管理しています。登下校についても、子供同士の距離が確保されていれば（およそ1～2メートル）、マスクをはずして登下校してもよいこととしています。気温、室内の温度や湿度等を考慮し、熱中症対策を図りながら、新型コロナウイルス対策を継続していきたいと思っております。ご理解よろしくお願いたします。</p>

(4) 子供の交友関係、トラブルやいじめへの対応等	
●	学年が上がるにつれ、いじめ等心配なことが増えてくる。そのような場合は、学校に相談したい。見えない所での悪口等が心配である。
●	友達付き合いの中で我慢したり、譲り合ったりしながら、相手を尊重する心を身に付けてほしい。
●	友達関係のトラブル等、気になることがあったら教えてほしい。
☆	<p>【生活アンケートの実施や休み時間の見守り等】 ・本校では、毎月子供たちに生活アンケートを実施したり、休み時間も見守りを行ったりするなど、悩みやトラブルにはすぐに対応しているところです。ご家庭で気になることがありましたら、気軽にご相談いただければと思います。</p>

2 家庭のお子さんの様子から	
(1) 家庭学習の習慣付け（勉強こつこつ）	
【低学年】	
○	帰宅後、着替えてすぐに宿題をする習慣が身に付いている。これからも続けてほしい。
○	一日1文日記（出来事や思ったことを1文書くだけ）を続けている。
○	寝る前になるべく家族で読書の時間をつくっている。
●	宿題の量をもう少し増やしてほしい。
●	宿題だけをすればよいという考えで、分からない所をもう一度するように言っても、遊びに出ることを優先している。家でも勉強する習慣を付けてほしい。
【中学年】	
○	こつこつノートは毎日自分で課題を決めてがんばっている。1年生から続けているので、学習の習慣が身に付いてきていると感じている。

○	勉強をする→よい点がとれる→うれしい→またよい点がとりたくて勉強するの流が、少し自分の中に芽生え始めてきた。
○	読書は毎日必ずする。スポ少や習い事で時間がなくても、寝る前のほんの少しの時間でも本を読む。図書館で読みたい本をPCで検索し、お取り寄せするようになった。
●	ノートの使い方を指導してほしい。ものすごい大きな字で書き、あっという間に1ページを使い切る。そして、やった気ている。
●	進研ゼミのタブレット教育をさせている。こつこつノートはしなければならないのか。
【高学年】	
○	子供ながらに、帰宅後、家庭学習の時間を確保し、やることの優先順位を決めて取り組んでいる。分からないところは、そのままにしないで、家族がヒントを与えたり、助言したり、本人の頑張りを認めたりしながら、家庭学習の定着を図っている。
○	こつこつノートは、復習及び学習に生かすことができ、力を付けるのによいと思う。本人もがんばっている。
○	読書する時間が増えたように思う。
●	高学年になったからか、こつこつノートが宿題として出されなくなってから、全く家庭学習をしなくなった。本当は、自発的にやれるようになるのがよいのだが、難しいように感じる。
●	読書や新聞はなかなか手が出ない。ネット等、気軽なもので情報を得ているが、少々心配である。
☆	<p>【こつこつノートの実施】</p> <p>・こつこつノートは、毎日1ページこつこつ行い、家庭学習の習慣化を図ることが目当てです。家庭学習の習慣は、すぐに身に付くものではありません。低学年からの積み重ねが大切です。本校では、家庭学習の推進に向け、「家庭学習の手引き」を作成し、「こつこつノート」に取り組むようにしています。授業の復習のみではなく、予習や授業内容を発展させた調べ学習等も考えられます。毎日できればよいですが、お子さんの実態や家庭の事情等でできない日もあるかと思えます。また、内容等もお子さんに応じた工夫が必要だと思えます。学年が進むにつれて、自分で計画を立てながら家庭学習に取り組む習慣が身に付くとよいと考えます。</p> <p>【新聞の活用】</p> <p>・今年度学校では、新聞を活用した学習を計画的に実施します。情報を読み、それについて自分で考えたり、関連する情報を集めたり、友達や家族の考えを聞いたりしながら、問題を自分なりに考える力を身に付けさせたいと考えています。3～6年生には、新聞を活用した課題を提供することもあります。ぜひ、記事を読んで、家族で話し合う時間をつくっていただければありがたいです。</p>

(2) 家族の触れ合い（触れ合いたっぷり）

【低学年】	
○	起きたら「おはよう！」と家族同士で必ず言い合ってから昼食を摂っている。
○	おはよう、おやすみ、お帰り等、家族に対して必ず挨拶をしている。挨拶のしっかりとできる子になってほしい。
●	言葉遣いが気になる。
【中学年】	
○	休日は、家にこもらないように一緒にジョギングをしたり、キャッチボールをしたりするなど、ストレスを溜めないようにしている。
○	ゲーム、タブレットは現在させていないので、家族でUNOをしたり、ご飯の支度を手伝ってもらったりしている。
○	素直に自分の感情を表して、言葉で伝えてくれるので、このまま続けていってくれるように、親も感謝の気持ちや挨拶等、気持ちを込めて伝えるようにしたい。
●	家では挨拶をしているが、外でもちゃんとできているか気になっている。
【高学年】	
○	掃除、皿洗い、洗濯、風呂掃除等、手伝いをよくしてくれて助かる。
○	休日は家にこもらず、できるだけ外へ出て、一緒に運動するようにしている。
○	起きたら「おはよう」と家族同士で必ず言い合っている。
●	弟や妹に対する言葉遣いが汚い。イライラしていると感じることが多い。

☆	<p>【「あさがおさいた」の推進】</p> <p>・学校では、互いに認め合う人間関係を築くために、宇奈月小学校の温かい言葉「あさがおさいた」を推進しています。「あさがおさいた」とは、「ありがとう」「さようなら」「がんばったね、がんばれ」「おはよう、おめでとう」「さすがすごいね、さいこう」「いいよ、いっしょにしよう」「だいじょうぶ、たいへんだね」など、相手を認める言葉、言われてうれしい言葉です。各学級では、帰りの会で一日を振り返り、うれしかったことを発表しています。ぜひ、ご家庭でも「あさがおさいた」に取り組み、お子さんとの温かな時間を過ごしてほしいと考えています。</p>
---	---

(3) 規則正しい生活リズム (けじめしっかり)	
【低学年】	
○	ゲームは、一日の制限時間を守っている。
○	平日、休日ともに早寝・早起きができている。
●	小学校の生活が疲れているのもあり、早寝はできているが、早起きがなかなか難しくギリギリになっている。早寝・早起きができるように、親も環境を整えたい。
●	なかなか午後9時までに寝ることができず、子供の体に負担がかかっていないか心配である。
●	ゲームやTVの時間のけじめが難しい。ルール決めや家庭での環境づくりに気を付けたい。
【中学年】	
○	休校中は、なかなかゲームの時間が守られず心配しましたが、一ヶ月で少しずつ普段の生活のリズムに戻ってきて、時間を守ったり、早寝早起きのリズムが付いたりしている。
○	ゲームやタブレットのつき合い方を本人が守られるルールづくりになるように話し合っている。
○	3年生になつて、早寝・早起き、身支度が早くなったので、成長したなど感じている。
●	ゲームやタブレットの時間を決めても、守られていない。
●	時間は決めていますが、オンライン等友達同士でやっているため、ついつい見逃してやらせてしまい、ゲームの時間が守られなくなっている。
●	習い事やスポ少があると、どうしても寝るのが遅くなる。本人は頑張りたいと思っているので、体調等に気を付けながらサポートしていきたい。
【高学年】	
○	ノーゲームデーに他の楽しみを見付け、「こんなことをしたよ」と話してくれるようになった。
○	休校中や休みの日は運動不足が気になり、散歩に一緒に行くようになった。
○	ゲームやタブレットの使用時間のルールは、コロナ休校でいい加減になってしまい、決め直したところである。
○	朝、検温するのに少し早起きになり、前より登校準備に余裕ができた。
●	ICTの進歩により、TV、WEBの壁がなくなった。TV番組とYouTubeとの区別、自由な選択について悩ましい。
●	子供同士でLINEのやりとりが始まった。我が家は親のスマホを借りて送受信している。子供にスマホを持たせることを含めて、個人的には時期尚早だと思う。ただ、友達のコミュニケーションも大切だと思うので、悩ましい。
●	前までは、ノーゲームデーの時はゲームをしていなかったが、最近ではYouTube等毎日視聴している。「YouTubeはゲームじゃない」と言っているが、ノーゲームの部類に入らないのか。
☆	<p>【メディアコントロールデーの実施】</p> <p>・学校では、ゲームやメディアの使用について、子供たち自らがコントロールの仕方を考え、自分でルールを決めて実践しようとする意識を高めさせたいと考えています。そこで、毎週水曜日をノーゲームデーから「メディアコントロールデー」に変更しました。毎週水曜日に、学校で、各自目当てを考え、家庭で実践します。7月上旬に、養護教諭が各学級をまわり、ゲームやメディアが体や心に及ぼす影響ややり過ぎを防ぐ方法を子供と一緒に考え、指導しました。この取組は、家庭の協力が不可欠です。ぜひ、お子さんの立てた目当てが達成できるように、環境を整えたり、やり過ぎを防ぐ方法と一緒に取り組んだりしていただければと思います。</p>

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。次回のアンケートは3学期(2月)にお願いする予定です。日頃のお子さんの様子や学校生活の中で気になる点がございましたら、アンケートを待たずともいつでも学校にご連絡ください。

健康で安全な夏休みを

— ひ・み・こ・の・不審・船・ネ! に気を付けよう! —



もうすぐ子供たちが楽しみにしている夏休みが始まります。今年は、新型コロナウイルスの影響で23日と短い夏休みになり、今までの夏休みとは、ひと味違った誰もが経験したことのない「新しい生活様式の夏休み」になることでしょう。

充実した夏休みを過ごすためには、健康で安全な生活を心掛けることが大切です。健康であるためには「1日の生活リズム」を整える必要があります。寝る時刻と朝ご飯の時刻を決めて生活することが、規則正しい生活のリズムを整える大切な一つです。「十分な睡眠・休養・食事」がとれるよう、夏休み前に生活時間を親子で振り返り、夏休みの生活時間や学習時間、メディアの時間等の計画や約束を一緒に考えていただけたらと思います。



また、安全に過ごすために、子供たちに『ひ・み・こ・の・不審・船・ネ! に気を付けよう!』と声をかけていきます。【火遊びをしないこと(ひ)、水の事故に遭わないこと(み)、交通事故に遭わないこと(こ)、不審者(知らない人)には距離をとること(不審)、線路内に入らないこと(船)、ネットトラブルに遭わないこと(ネ)】学校でも事前に指導を行います。ご家庭でも危険回避の方法について話し合ってみてください。特に今年、学校では水泳の実技指導は行うことができませんでした。夏はプールや海、川に出かけることがあると思います。楽しい水遊びのほすが、約束やルールを守らないと命にかかわる事故につながることを子供たちにも考えさせていきたいと思っています。



SNSやインターネット等の使い方やゲームやテレビの時間等、この機会に今一度話し合われてはいかがでしょうか。子供は大人が思っている以上にパソコンやゲーム機、スマートフォンの機能を使いこなし、友達間で情報をネットで交換しています。友達と時間を決めてオンラインゲームをしている子供もいます。年齢規制がされているゲームをしている子供もいます。夏休み中の「我が家のルール」を決め、健康で安全な夏休みとなるようにしてほしいと思います。子供たちがトラブルに巻き込まれないように、私たち大人が子供に対し、きちんと使い方や危険であることを教え、目をかけ、声をかけ、真心をかけて子供の安全を守ることが大切なのです。

8月24日の2学期始業式には、全校児童が元気に登校することを願っています。

ひ・み・こ・の・不審・船・ネ! に気を付けよう!
(火) (水) (交通事故) (不審者) (線路) (ネットトラブル)

※昨年、ゲームへの依存に関する全国規模の調査が初めて行われ、ゲームに費やす時間が長いほど仕事や健康に悪影響を及ぼしている実態が明らかになりました。

生活に支障が出るほどゲームに熱中する依存症は、世界保健機関(WHO)が昨年5月、「ゲーム障害」という病気として認定し世界的に対策が求められています。

夏休みも充実した家庭学習を！ 「挑戦せずして成功なし！」



今年は23日と短い夏休みですが、これだけ長い休みを取れることは、なかなかありません。そこで、子供たちには学校で学習したことを生かして「夏休みにしかできない学習」にぜひ挑戦してほしいです。例えば、「自分の興味・関心のあることを長期的に観察・実験できる自由研究に挑戦する」「創意工夫にあふれる発明くふう作品、工作・絵画づくりに取り組む」「好きなジャンルの本を〇冊読破する」「気になる新聞記事を探し、自分の考えを書く」「Scrach(プログラミングソフト)を使ってゲームを作成し、家族や友達に楽しんでもらう」「毎日、ラジオ体操、3015運動、ランニングを継続する」「家族と一緒に食事を調理し、我が家のクッキングレシピを作る」等、子供が挑戦してみたい、興味・関心のある学習は多種多様です。まずは、子供たちの興味・関心を大事に、自分で課題を見つけて挑戦する夏休みにしてほしいです。ぜひ、各家庭では「子供たちの挑戦したい気持ち」を勇気付ける言葉がけと支援をよろしくお願いします。

8月・9月の主な行事予定

【8月】

- 24日(月) 第2学期始業式、給食開始
- 27日(木) 歯科検診
- 30日(日) PTA美化活動(保護者のみ:草刈り機7時～、全体8時～9時30分)



【9月】

- 2日(水) 身体測定・視力測定
- 7日(月) 6年卒業生に学ぶ会 委員会活動
- 10日(木) 耳鼻科・眼科検診
- 11日(金) 市発明くふう展～22日
- 12日(土) 第15回運動会
- 14日(月) 振替休業日
- 26日(土) 市科学作品展～10/6



【お知らせ】*****

1学期は、毎日の健康観察やマスクの準備、臨時休業中の家庭学習や日々の学校からの連絡等にご協力いただき、誠にありがとうございました。

また、今回お知らせした学校の教育活動などについてのアンケートへのご協力に対しても重ねて感謝申し上げます。

学校では2学期の運動会のあり方に向けて検討中です。今年度は会場に来られた方々のお名前や時間帯、健康状態をはじめ、密にならない応援席の設置等が必要と考えております。また、消毒や安全な移動等に時間が必要なため、競技内容や時間設定、応援席の地区割り等、例年とは異なる部分が多々あるかと思いますが、ご理解・ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。